

# 児玉高校だより

平成24年度第1学期終業式が行われました。



7月20日（金曜日）9：00 ～

本校体育館において第1学期の終業式が行われました。全員がこの式の主旨を理解し、真摯な態度で式に臨んでいたことをうれしく思います。ぜひ、社会での常識を身につけていって欲しい。

初めて高校の担任をしたときの、ある生徒は、家庭環境に恵まれず働きながら夜間中学を卒業して、高校に入学してきました。「家庭的には恵まれなかったが、高校だけは卒業して、絶対に幸せになるんだ。」という強い気持ちを持ち続け、卒業し就職。苦勞して技術を身につけ、独立して見事に起業。逆境にあってもくじけずに努力すれば、きっと道は開けます。みんなの頑張りを大いに期待します。

9月3日に、また元気でここで会いましょう。気をつけて、夏休みを過ごしてください。

## 活躍する部活動

祝！ 女子柔道部 インターハイ富山大会出場(個人)

祝！ 書道部 県硬筆展覧会特選賞(2人)、優良賞(5人)

# 平成24年度非行防止教室開催

## 講師 児玉警察署・生活安全課 山田元廣氏

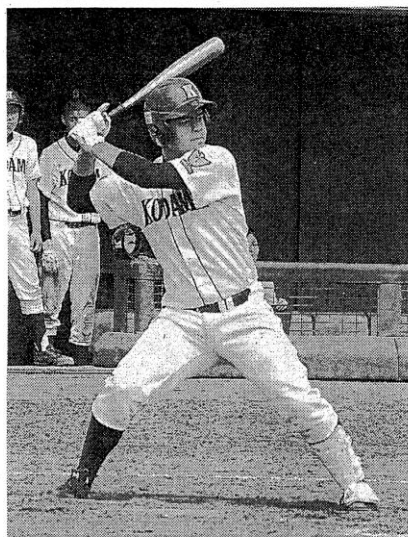
児玉町内に於ける少年非行の現状（深夜徘徊、喫煙による補導や最近のスマートフォンの普及に伴うトラブル）をもとに高校生として生活、行動の在り方について丁寧に話していただいた。



### ★★新聞掲載記事（朝日新聞・平成24年7月）★★

第3種郵便物認可

享月 日 楽斤 頁



## 先輩からのお守り 後輩に託す

### 児玉の4番・小橋川ピトル選手(3年)

1点を追う9回表2死三塁。投手がサインに首を振った。「ストレートだ」。児玉の4番小橋川ピトル選手(3年)は確信した。これまでの2安打は、いずれもカーブをはじき返した。狙い通りの直球が来たが二ゴロ。試合は終わった。

「絶対に振り抜こうと思ったが、中途半端になってしまった」。悔しかったが、表情は明るかった。

昨夏、3回戦でチームが敗れた時、1年先輩で捕手だった会社員田村陽さん(18)からお守りを託された。「後輩は兄弟のようなもの。ピトルに児玉を引っ張ってほしいから」。応援に駆けつけた田村さんは振り返った。

1年後。お守りを身につけて試合に臨んだ小橋川選手は、土壇場で頼れる主砲に成長していた。仲間を配って声を掛け、チームを盛り上げる欠かさない存在。新井亨夫監督も信頼を寄せていた。

試合後、「夏の大会でホームランを打つのが夢だった。児玉の軸として頑張っていた」と、次期キャプテン候補の根岸拓実選手(2年)の首にお守りをかけた。根岸拓実選手は「全打席ホームランを狙って練習に励みます」と誓った。

「笑顔で前向きな児玉の野球ができた。満足です」。お守りと夢は受け継がれた。(佐藤啓介)